

デタラメに便乗すれば必ず将来破綻、思想宗教、科学(数学物理, 経済, エネルギー, 気候変動)の真相認識を隠蔽すれば、確実に将来破綻、**総懺悔で修正転換**すれば救済可能性が、..

①思想宗教と科学：〈矛盾こそは現世では秩序破綻を意味、来世では全知全能を意味〉。

唯物主義現代資本主義科学の逆にあると言うのが現代世界人の圧倒的大誤解の神(宗教)、神=全知全能=almighty=全実現(〈無矛盾+矛盾〉全実現)=**矛盾**実現の論理理解が鍵。理解発端は物理真空での無からの粒子-反粒子。創生反応(真空偏極)が矛盾実現だから。常識からしても無から有の発生は論理矛盾実現(実現してはならない事の実現!!)。

(1)神の存在証明、

(2)宗教預言の機構：

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

<http://www.777true.net/slavejapan.pdf>

<http://www.777true.net/scientifical-mechanism-of-prophecy-by-paranormalities.pdf>

☞:浅学でも結構判る**論理学**だが、是は筆頭必須科学、是の無知は無力化に通じる。

其の核心は**矛盾**の真意の理解。

<http://www.777true.net/intro-math.pdf>

☞:仏教は神をおかない稀有の世界宗教だが、其の一つ核心にある般若心経(実態は論理学)の無翻(訳)最終節の意味は「この世とあの世(全知全能世界)を往来するに幸あれ」,

②数学-論理学：〈実数0の正体、情報不足は確率現象化、意思決定論で重要認識〉。

(確率=1の**決定論**で)真なる命題は証明可能(ゲーデル完全性定理)は現代科学の金字塔、だが数論を含む公理系(理論)には真とも偽とも証明不能命題が必ず存在(ゲ不完全性定理)。不完全性定理は特異点出現(1/0)=**情報不足=確率化現象**に対応。認識論基礎で重大。

<http://www.777true.net/goedel-chaos.pdf>

(3)其の具体的正体は自然数論における**最大数Mの非決定性**{0, 1, 2, 3, ... 無限}。

(4)実数0*は無にして無とも確定できない不完全命題対象。0*=1/M。

*気候数値予測(NS方程式)における長期予測の不完全化などに現実に出現する、

理論実験双方定評の標準理論の素粒子大きさは実数0。大きさのある成功理論なし。

☞:要するにこの世界は**決定論**(確率 1, 0)と**確率論**($0 < p < 1$)で全てです。但し確率0は無ではない、非可観測の意味。

☞:数学は最も嫌われる科目代表、だが今回震災と福島原発危機で大問題化した将来**想定**は確かな模型想定と計算に掛かる。素粒子世界から宇宙誕生、皆の命を託す気候変動予測、計画経済までみんな算数次第、

③物理学(素粒子論, 宇宙論, 統計力学, 経済力学).

素粒子科学基礎は完成終焉, 無駄金-人を止める。日米政府は筆者著作無断盗用弁済せよ。
JPARK 素粒子実験施設 666 億円(今は是以上, **年間運転費 10 億**)などの悪ふざけもまだ。

<http://www.777true.net/qftstructure1.pdf>

<http://www.777true.net/Nobelprize.pdf>

(5)日本&海外物理学界が隠蔽した物理学上の基礎事実リスト。

<http://www.777true.net/phys-hidden.pdf>

既成物理学者が理解に無いのは量子力学の確率理論化=特異点発生=情報喪失<②>。
特異点発生=1/0=無限。是は素粒子大きさがあの実数0*に由来して不可避が正当。
有名な量子力学の逆説等が全て解消され、整合統一可能。重要な非平衡統計力学等の
web 本格紹介はないが、地下出版本(複写用原画)あり、**オレンジ色は一般向け**。

(a)鈴木基司、構造的物理認識の為の連続値論理学、時事問題解析工房、1992。

(b)鈴木基司、**思考推進言語と真相世界**、時事問題解析工房、1993。

(c)鈴木基司、**現代物理学最前線**、時事問題解析工房、1998。

(d)鈴木基司、量子重力力学と最終統一場論、時事問題解析工房、1997。

(e)鈴木基司、量子確率過程力学、時事問題解析工房、1990。

(f)鈴木基司、経済回路網力学、時事問題解析工房、1998。

(g)鈴木基司、非局所的雙極子場の量子論<改定中>、時事問題解析工房、1992。

(h)鈴木基司、縦波電界波発電の電磁場解析、時事問題解析工房、2003。

(i)鈴木基司、**日本の癌病巣をえぐる 1, 2, ...**<未編纂原画あり>、時事問題解析工房、1995~。

☞:上記に関しては他業務多忙に付き、デジタル編纂管理販売等の業務委託を希望、
デジタルで PDF にすれば通信販売可能でしょう(部分的に修理箇所あり)、

問い合わせ先：motoji-suzuki@key.oen.ne.jp

(6)無からの電力創始(電荷密度波発電)：

歴史的にはあの N. Tesla のスカラー波発電、量子電磁気学で始めて理論基礎ができる。
大型 Si 誘電体結晶があれば即座に実証可能です<賭けをしても良いです>。超安価の
水誘電体でも実質上は実験証明してます<追試可能>。実用化では材料価格問題あり。

<http://www.777true.net/bwg.pdf>

<http://www.777true.net/bwavegen.pdf>

(7)電荷密度場による触媒化学<良導体表面触媒空間での常温核融合の可能性>。

(1991 年公刊忌避の筆者論文)10141-23 : General Analysis on Room Temperature Nuclear
Fusion from the View of Statistical Hybrid Hamiltonian Theory. submitted to
Chem. Soc. Jpn, 1991/3/13. 引用先*高野文彦, 多体問題, p17, 培風館, 東京, 1975。

<http://www.777true.net/seismology-the-frontline.pdf>

④経済学(経済回路網論 Economy Net Dynamics=END) :

帳簿数字(経済変数)総計は経済系の忠実な写し、通貨と商品は経済回路網を相互逆流。主観完全抜き客観経済動力学がここに始めて語られる。其の筆頭定理が **0サム定理**。**借金総額=通貨資産総額**。金融問題がここに集約。誰かの負債は誰か貸し手資産だから直感でも判るし厳格証明もある。だが標準世界教科書一切に記述なし。何故か!!!!

(8)金融救済と国家財政危機進行(金権政治体制国家の**延命政策**) :

現代世界経済体制とは米国が技術と市場を提供、各国が対米輸出で**余剰蓄積**、逆に米国は**世界最大債務**を抱える事で世界経済成長の路線、だが何時か**破綻必須**は事前明白だった。民間レマン破綻 2008 年後、負債を全部国公的財政吸収するのが世界共通策。だが経営雇用破綻連鎖の世界恐慌化、然るに不況=民間没落は公支出を期待するのだが、公的金融支援は財政破綻を強め、ここ一番の肝心時に負に作用。で金融公支援をしないと不況急速深化-
税収減にもなる、要するにいずれでも**最終危機**は同じで**前者が先延ばし**、後者は即決。

(9)通貨大量発給での**インフレ化**でも**債務放棄**でも通貨資産価値減少は同じ。

(10)END での**需要強度**(収入減少度と支出分配率増大の比)最大値は**“食糧品”**になる。

常識でも判る事だ。是には後に述べる**⑤気候変動科学**をも参照されたし。

(11)皆が一斉に一番困った時の**準戦時経済体制** : 以下の 4 番目参照サイト。

* 鈴木基司、経済回路網力学、時事問題解析工房、1998。

<http://www.777true.net/end1.pdf>

<http://www.777true.net/accountbook.pdf>

<http://www.777true.net/intro-math.pdf>

http://www.777true.net/National_Family_Economy_System.pdf

この経済学方法は作者主観余地がないし、出発点が帳簿だから経済体制の制約もない。細かい事を言い出せば未完成要素もまだあるが、基本骨格発想を理解すると経済現象の定性定量解釈で実用的、統合的な計画経済可能性も。志願者には理論の更なる開発と販売委託等を希望してます。

☞ : 経済学への体制抑圧問題。

* 本は通産省経済研究所とか、日経新聞、某大学商学部等に当時配布されたが、なしのつづて、2007 年筆者も時期指名は無いが米国経済破綻を預言(上記 end1)。米国の借金総額を勘定すれば是は誰も判るが、当時それを言うとヨタ者扱いされたと言う。
* 本を書いた動機はいくら一般流通中の経済書を読んでも統合理解ができない問題だった、振り返れば、* 程度の発想は筆者以外にあっただろうに?!。経済学は**陰惨科学**と呼ばれ、昔から検閲がひどかったのだろう。実は次の気候科学も恐ろしく類似。両者共通点は**欲望巨魁現体制**がもたらすとてつもない**大錯誤**なのだろう。

⑤気候変動科学:

現代世界の**近将来最終問題**は、現状趨勢(化石燃料継続)が持続すれば確実に気候変動進行＝世界的な**生活基盤破壊-食糧生産破壊**の一点に収束してく。それ以外はガラクタ!!,...

☞ : 2010年英国BBC国際世論調査での日本での現代世界問題第一位は気候変動問題。

<http://www.afpbb.com/article/life-culture/life/2683508/5181669>

地球温暖化(global warming)の言葉通り、従来気候変動は“緩慢長期間での変動”と誤解(だま)されてきた。だが北極にとんでもない大量**メタン氷**時限爆弾(1兆 ton)がある。

☞ : **気候変動科学者姿勢と現状維持抑圧体制**。

官庁気候変動問題担当責任科学者と電話会談、筆者の上記危急認識に関して言及すると「**正直に気候変動実態を言う事は現状体制にそぐわない**」との主旨を告白。是にはまさかと驚いた。地上生命よりも今の甘い圧倒的経済体制が重いと言う**超便乗錯誤**である事だ。もしくは言動への地位脅迫等の抑圧があるのだろう。科学者責務は現状体制云々に無関係に**科学事実**だけを提供すればよい。他方で別途官庁科学者質問では当初もう間に合わないと言う示唆、更に後日複数会談では言わなくなった。現代米国の気候科学先端と政治行動両面での筆頭指導者 Dr. J. Hansen は体制抑圧の多々経験が報道されてる。筆者自身についても抑圧陰謀を{石油-自動車産業+米軍}基地横須賀市では“日常”で経験する。経営者以上に時には保守の労組を抱える現民主党政府責任者は提言実行に無い。非情に嫌がってる。

☞ : **IPCC(世界気候変動科学者会合)の気候科学見解における欠陥**。

地球科学博士号某議員は2001年国会でメタン問題追求、IPCC気候模型にも取り込むべしを指摘、だがIPCC本体は正面切ってこの問題言及が無い。個々科学者は深刻に言及。

(12)気候変動のワイルドカード＝メタン破滅。

<http://www.777true.net/Whole-Looking-on-Climate-Crisis.pdf>

☞ : 以下ページは不備もあるので今後修正予定)

<http://www.777true.net/2ndlow.pdf>

決定的ポイントは一度臨界温度を超えると後戻りできない最終破綻、其の一般に周知されないメカニズムは北極海低の{**強度GHG＝メタン高温化融解と地球温度上昇の悪循環化**}。

(13)人為炭素0放出-自然吸収最大化にしても約30年後に**0.3℃上昇**、以後下降へ。

<http://www.777true.net/Global-Temperature-FACT-7.ppt>

だからこの期間内に北極メタン破滅回避なれば地球火炎地獄化の回避救済ができる!!

(14)更にもう**1℃上昇は破滅的**<2010-COP16-IPCCキシコ会合での合意は自殺行為>。

<http://www.777true.net/suffer-for-perishing-or-for-surviving.pdf>

☞ : 多少粗い近似計算だが再検算で主旨合意いただければ上記(13)(14)は筆者意見ではない。

もう本当に残り時間が無いと言う**臨界的現状**が確認されるはずです。

結論:対処無きは困難辛苦の末に火炎地獄の地球へ、80%以上炭素削減世界対処も超辛苦だが、少なくとも未来での解放の希望がある。どちらかを早急決断せねばならない。